

# ますらおぶい

- Library information -

第508号 (30年度第3号)  
静清高等学校 図書館  
2018 (H30) 12月発行

あと10日後には元旦を迎え、平成30年ももう終わりが見えてきました。  
今年1年はどんな年だったでしょうか。

毎年発表される“今年の漢字”は「災」(=ざわざい、よくないできごと、災難)でした。  
地震、豪雨、台風、猛暑など、とにかく自然「災」害のとても多い年でした。また、仮想通貨の流出、財務省決済改ざんなど、人「災」もありました。

“今年の漢字”は京都・清水寺の森清範(せいはん)貫主(かんしゅ)の揮毫(きごう)により発表され、清水寺奥の院のご本尊・三面千手観音菩薩坐像に奉納されました。  
この儀式により、漢字に託された今年の世相が清められ、これから迎える新年が明るい年になることを祈っています。

皆さんにとって平成はどんな時代だったでしょうか。平成生まれの皆さんにとっては愛着があり元号が変わり寂しいと思う人もいるでしょう。

4月1日頃には新元号の発表があり、5月1日に元号が変わります。新しい明るい時代の幕開けになれば良いと思います。

## 2019 1月

### 1月の開館日

冬休み中の開館は、  
12月25,26,27日の午前中  
になります☆

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
31	01 閉館	02 閉館	03 閉館	04 閉館	05 閉館	06 閉館
07 閉館	08 閉館	09 14:00まで	10 ○	11 昼休みまで	12 閉館	13 閉館
14 閉館	15 ○	16 ○	17 ○	18 ○	19 閉館	20 閉館
21 ○	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○	26 閉館	27 閉館
28 ○	29 ○	30 ○	31 ○	01 ○	02 閉館	03 閉館

学校のホームページから、開館予定、新着図書一覧など確認できま

## 2学期のベストリーダー

2学期(8月~12月19日まで)のマンガ・雑誌を除く貸し出し数トップ5の表彰です。

- 1 14 HR 金城 祥喜 184 冊
- 2 13 HR 片山 尚紀 118 冊
- 3 32 HR 仙島 涼也 66 冊
- 4 34 HR 大塩 陸 41 冊
- 5 21 HR 勝山 創汰 31 冊



## 平成のベストセラー

平成ももうすぐ終わりです。「平成」のベストセラー、どんなものがあったでしょう  
今回は平成元年から15年までの半分を紹介。知っている本はありましたか??

- 平成元年 ※ 『TUGUMI』吉本ばなな：中央公論社
- 平成2年 『愛される理由』二谷友里恵：朝日新聞社
- 平成3年 『Santa Fe』宮沢りえ・篠山紀信撮影：朝日新聞社
- 平成4年 ※ 『それいけ×ココロジー』それいけ!!ココロジー編：青春出版社
- 平成5年 『人間革命(12)』池田大作：聖教新聞社
- 平成6年 『日本をダメにした九人の政治家』：浜田幸一：講談社
- 平成7年 ※ 『遺書』松本人志：朝日新聞社
- 平成8年 ※ 『脳内革命』春山茂雄：サンマーク出版
- 平成9年 『ビストロスマップ完全レシピ』フジテレビ出版
- 平成10年 『新・人間革命(1・2・3)』池田大作：聖教新聞社
- 平成11年 ※ 『五体不満足』乙武洋匡：講談社
- 平成12年 ※ 『だから、あなたも生きぬいて』大平光代：講談社
- 平成13年 『チーズはどこへ消えた?』スペンサー・ジョンソン：扶桑社
- 平成14年 ※ 『ハリーポッターと賢者の石~炎のゴブレット』J.K.ローリング
- 平成15年 ※ 『バカの壁』養老孟司：新潮社

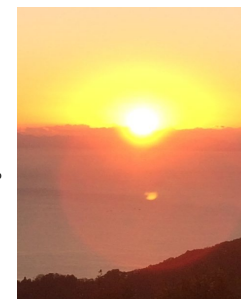
※は、学校の図書館に所蔵がある本です。ぜひ手に取ってみてください。

## 一葉の写真

(2017/01/01 於：薄雲峰山頂)

2018年(平成30年)もあとわずか。1年があっという間に過ぎていく。  
この1年を振り返ると様々なことがあった。多くの人と出会ったり、  
初めて体験することもあった。何気なく過ごしていた日々も貴重な  
日々であったと考えさせられる。あの時こうしていればと  
思うことがあるが、良いことも悪いことも過去に  
とらわれてはいけな

新年を迎えるにあたって不安を感じる。しかし、  
起きてもないことに怯えていてもどうにもならない。  
問題が起きたとき、いかに善後策を講じるかが  
大事ではないか。これも日常生活の経験が  
活かされていく。(教務課図書主任：鈴木)



# 今月注目の新着図書

## 分類1 (哲学)

123.89 (サ) 『こども論語の言葉』 斎藤 孝／著 KADOKAWA

146.1 (キ) 『人生を変える勇気 踏み出せない時のアドラー心理学』 岸見一郎／著

180 (ア) 『気になる仏教語辞典』 麻田 弘潤／著 誠文堂新光社



仏教の基礎的な用語や仏さまのこと、仏教に関わるもの、お坊さんあるあるなど、  
仏教にまつわる言葉を、イラストとともにわかりやすく解説。  
お坊さんって普段なにしてるの？なんでスクーターに乗ってるの？など  
堅苦しくて難しそうな仏教を、とっても楽しくわかりやすくしてくれています！

## 分類2 (歴史・伝記)

210.1 (ヒ) 『日本国紀 The History of Japan』 百田尚樹／著 幻冬舎

## 分類3 (社会科学)

330 (サ) 『今さら聞けないお金の超基本』 坂本 綾子／著 朝日新聞出版社

379.9 (イ) 『勉強法以前の「勉強体質」のつくりかた』 伊藤敏雄／著 主婦の友社

## 分類4 (自然科学)

440 (チ) 『僕たちは、宇宙のことぜんぜんわからない』 ジョージ・チャム・ダニエル・柯イトリ／著

499.09 (イ) 『医薬品業界で働く』 池田 亜希子／著 ベリかん社

## 分類5 (技術・工学・家庭)

592.7 『電動工具の使い方事典』 スウタジオクリエイティブ

532.4 (ハ) 『Myフライス盤をつくる：切削加工機の自作ガイド』 橋本大昭／著 大河出版

## 分類6 (産業)

689.5 (カ) 『ディズニー夢をかなえる神様が教えてくれたこと』 鎌田洋／著 SBクリエイティブ

## 分類7 (芸術・スポーツ)

702.3 (ミ) 『1時間でわかる西洋美術史』 宮下 規久朗／著 宝島社

779.17 (ニ) 『新世界』 西野 亮広／著 KADOKAWA

サイン本です！



お笑い芸人であり、絵本作家であり、実業家である西野亮広。一步踏み出すのに必要なのは「強い気持ち」なんかじゃない。踏み出しても殺されない「情報」という武器だ。挑戦するたびにバッシングされ、失敗と成功を積み重ねてきた。お金と信用、未来の生き方の具体的戦略を語る。

## 分類9 (文学)

913.6 (サ) 『アオハル・ポイント』 佐野 徹夜／著 KADOKAWA

913.6 (サ) 『あした世界が終わるとしても』 櫻木 優平／著 KADOKAWA

913.6 (モ) 『熱帯』 森見 登美彦／著 文藝春秋

913.6 (ミ) 『愛なき世界』 三浦 しをん／著 中央公論出版社

913.6 (イ) 『下町ロケット4 ヤタガラス』 池井戸 潤／著 小学館

913.6 (フ) 『黒いピラミッド』 副土 俊哉／著 KADOKAWA

<ライトノベル・マンガ等の新刊もそくそく入荷中です！>

# 第160回 直木賞・芥川賞候補作発表

## 直木賞候補作品 (5作品)

『童の神』 今村翔吾

『信長の原理』 垣根涼介

『宝島』 真藤順丈

『ベルリンは晴れているか』

深緑野分

『熱帯』 森見登美彦

## 芥川賞候補作品 (6作品)

「ニムロッド」 上田岳弘

「ジャップ・ン・ロール・ヒーロー」

鴻池留衣

「戦場のレピヤタン」

砂川文次

「居た場所」 高山羽根子

「平成くん、さようなら」

古市憲寿

「1R(ラウンド)1分34秒」

町屋良平



第160回直木賞・芥川賞の候補作が発表されました。

決定は平成31年1月16日となります。

直木賞と芥川賞の違いを皆さん知っていますか？

正式名称はそれぞれ「直木三十五賞」、「芥川龍之介賞」といいます。

どちらの賞も文藝春秋の創設者で菊池寛という方が創設した賞です。

直木賞は大衆小説で無名から中堅作家、芥川賞は純文学で無名から

新人作家が選ばれます。発表時期は年2回(1月・7月)で、

受賞者には懐中時計と賞金100万円が渡されます。

今回はどの作品が選ばれるか楽しみです(\*ω\*)

## 課題研究発表会

### in 藤枝市民ホールおかべ

平成31年1月18(金)、藤枝市民ホールおかべにて「課題研究発表会」を行います。発表者は工業科の3年生で視聴する生徒は工業科の2年生です。

課題研究は3年生に履修する科目で、一つのテーマについて一年間研究します。各クラス4~5テーマの班に分かれ研究した成果を発表しますが、今回は初の試みで校外の施設を借用しての発表となります。各班、素晴らしい発表を期待します。